



## 地元の誇り円谷幸吉選手の信念の継承！

「ガンバレ円谷」「あと少し、走れ」。スタンドを埋め尽くした7万人余りの大観衆の悲鳴にも似た歓声と声援が渦巻く。疲れ切って腰の位置は落ち、あごを突き出してゴールを目指す円谷。後ろからヒートリー（英国）がひたひたと迫り、残り2百mで円谷を抜き去った。3位でゴール。銅メダル。日本陸上界に戦後初めてもたらしたメダルだった。その瞬間、円谷幸吉は「栄光のランナー」となった。  
当時の新聞記事より

昔から須賀川市は「馬の背の町」と呼ばれてきました。地形が中心市街地の通りから南北に馬の背のようになっており、その両側が坂となっています。この起伏に富む地形が、昭和を駆け抜けたまれにみる健脚をもつ円谷幸吉選手を育てたのに違いありません。

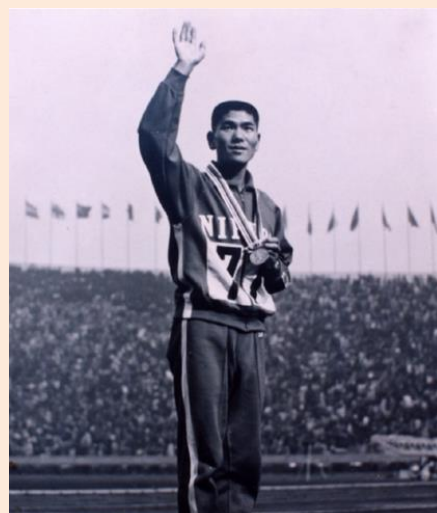
円谷幸吉選手は、昭和15年（1940年）に須賀川市の農家に生まれました。小さい時から、父親の影響もあり、礼儀正しく、何事も最後までやり遂げる子どもでした。須賀川高等学校に入ってから陸上競技部に入り、毎日厳しい練習を重ねました。卒業後は陸上自衛隊に入隊し、そこでも陸上競技の練習を続けました。その後、自衛隊体育学校の開校と同時に第1期生として入学する一方、中央大学の経済学部に入學し、陸上と勉強に励みました。この間、数多くの大会で、日本記録や世界記録をぬりかえました。

そしてむかえた昭和39年（1964年）東京オリンピックでは、マラソン選手として出場し、陸上競技で日本唯一のメダル（銅メダル）を獲得し、日本人に勇気と誇りをあたえました。

（参考資料：わたしたちの須賀川 須賀川市教育委員会）

円谷選手と接した人は、口をそろえてこういうそうです。  
「まじめ」「責任感が強い」「礼儀正しい好青年」だったと。その「礼儀正しさ」を表すエピソードがあります。それは、強化合宿で風呂に入るとき、脱いだ服をきちんとたたんで、風呂から上がった時、着る順番を考えて、服をそろえて入っていたそうです。円谷選手の生き方や考え方は、その元をたどると、

- 1 呼ばれたら返事を
- 2 人にはあいさつを
- 3 はきものをそろえる（整理、整頓）
- 4 自分のことは自分でする



といった、父親の厳格（げんかく）な躰（しつけ）のもとで育てられたことに影響されているのだそうです。一つ一つは、今も昔も変わらず、当たり前のことです。小さい頃から、それを、言葉だけではなく、そのことの意味や大切さをよく理解し、身にしみこませてくれた幸吉とそうさせた父。同じようにとは言えませんが、やはり、人として大切なことは、何十年経っても大切なことなのだあらためて教えられます。

円谷幸吉選手は、マラソン選手としての優れた力だけではなく、その生き方や考え方が今でも私たちに多くのことを教えてくれます。

さて、今年も円谷幸吉選手の偉業をたたえる「円谷幸吉メモリアルマラソン」が、15日（日）に行われ、全国から過去最多の3506人のランナーが集まり、その偉業をたたえ力走しました。

## 6年 平原由唯さん全国合奏コンクール・ソロ（フルート）部門で見事 銀賞受賞！

21日（土）に郡山市民文化センターで、日本学校合奏コンクール2017全国大会ソロ&アンサンブルコンテストが行われ、本校の平原由唯さんが、ソロ部門（フルート）で銀賞を受賞しました。曲目は『「歌の翼」による幻想曲』でした。

### 全国大会に出場して 平原 由唯

今年、小学校の思い出にと、思い切って日本学校合奏コンクールソロ部門に応募してみることにしました。そして、信じられないことに予選を通過し、全国大会（本選）に出場できることになりました。

全国大会出場が決まってから、校長先生をはじめ、学年の先生方、合奏部の先生方、たくさんの方が応援して下さい本当にうれしかったです。そのおかげで大会ではきん張りましたが、自分なりの演奏をすることができました。これからも感謝の気持ちを忘れず大好きなフルートを続けていきたいです。



## 6年 馬場晶珠さん「ふくしまっ子ごはんコンテスト」で見事 優秀賞受賞！

福島県教育委員会主催による小・中学生を対象とした「平成29年度ふくしまっ子ごはんコンテスト」の最終審査会が15日（日）福島県学校給食会調理実習室で行われました。1万3605点の応募があり、最終審査会に残ったのが小学生9人、中学生7人でした。最終審査会に残った6年の馬場晶珠さんは、「時短、簡単バランスご飯」を見事に調理・盛付けし、優秀賞を受賞しました。

### 「ふくしまっ子ごはんコンテスト」に参加して 馬場 晶珠

ふくしまっ子ごはんコンテストの最終審査に残ったとわかって、毎日母と料理の練習をした。クラスの前でもリハーサルをした。たくさん応援してもらったから、本番でも勇気をもって頑張ることができた。私の料理のテーマは、「時短、簡単バランスご飯」で野菜をたくさん使い、電子レンジやビニール袋を使って朝の忙しい時間でもすぐにできるように工夫した。優秀賞と聞いた時はうれしかった。これからも私の料理でみんなを笑顔にしたい。



## 二小の子どもたちの素晴らしい活躍！

- 岩瀬地区小中学校音楽祭（第2部合奏） 金賞
- 平成29年度 岩瀬地区理科作品展
  - 特選 1年 只野 在 3年 松井彩華 4年 町田惇十
  - 金賞 1年 山寺咲翠 2年 安齋 滯 阿部愛莉夏 3年 小野菜々子
  - 5年 安齋勇之介 6年 北村橙椰
- 平成29年度 須賀川市体育協会表彰
  - 優秀選手賞 2年 村越仁美 短剣道 6年 井上開智 水泳
- 平成29年度 岩瀬地区読書感想文コンクール
  - 特選 4年 平原真緒 5年 矢吹心乃 準特選 6年 矢内凜一
- 平成29年度 岩瀬地区児童作文コンクール
  - 特選 2年 国井未来 3年 金澤 圭 準特選 4年 渡辺虎太郎 6年 橋本 楓
- 第3回天栄杯サッカー大会 第3位 北星FC
- 第50回記念須賀川市民体育祭 バドミントン競技 小学生シングルス 第1位
- 第23回福島県小学生バドミントン選手権大会東北予選会 6年生以下女子シングルス 第3位
- 第2回福島県小学生バドミントンダブルス大会 女子Aクラス 優勝 菊地悠梨子
- 第35回 円谷幸吉メモリアルマラソン大会
  - 親子(父と子) 1.4km 第1位 面川 零 (父雄太さん) 小学4年女子 第6位 寺澤咲輝
- 日本学校合奏コンクール2017全国ソロ&アンサンブルコンテスト ソロ部門 銀賞 平原由唯